

令和5年度 甲府市社会福祉審議会

第3回地域福祉専門分科会

議 事 録

甲府市福祉保健部総務課

令和5年度 甲府市社会福祉審議会
第3回地域福祉専門分科会議事録

開催日時：令和5年11月20日（月） 14時00分～15時00分

場 所：甲府市役所本庁舎 6階 大会議室

出席委員：丸山正次会長、山田文夫委員、佐藤一男委員、茅野昭勇委員、高野智代子委員、
根津宏次委員、雨宮正夫委員、山田弘之委員、山田一典委員

欠席委員：柄沢眞委員、藤原静委員

担 当 課：【甲府市社会福祉協議会】

萩原総務課長、中澤地域福祉推進課長、向山ボランティア振興課長、
有賀福祉サービス課長、楠課長補佐、松木主任

【福祉保健部】

八巻福祉保健部長、望月福祉保健総室長

事 務 局：窪田福祉保健部総務課長、神田課長補佐、保坂係長

傍 聴：なし

【甲府市社会福祉審議会第3回地域福祉専門分科会】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 議 事
 - (1) 評価指標等の設定について
 - (2) その他
- 4 閉 会

○事前配布資料

資料-1 甲府市地域福祉推進計画 評価指標及び細事業（案）

○当日配布資料

当日資料 - 1 「甲府市協働のまちづくり第3期推進行動計画」体系図

当日資料 - 2 「KOFUNEXTACTION」概要版

座席表

◆会議の内容◆

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
会長より挨拶を行った。
- 3 議事
 - (1) 評価指標等の設定について

【委員】

施策1事業(1)細事業⑧「あいさつ・声かけの推進」について、具体的に何を実施するのか教えてほしい。

【事務局】

具体的な事業内容は検討中であるものの、小地域ネットワークにおける社協の活動があたる。地域の関係が希薄化している中で、顔の見える関係づくりが重要と考え、細事業に追加した。細事業の詳細は検討中であるため、今後変わる可能性があることを了承してもらいたい。

【委員】

シニアクラブについて、各自治会に声掛けをしているのか。熱心に取り組んでいる地域が少なく、事業が止まっている認識である。また、シニアクラブ以外で、資料に記載されている事業においても、すべてが実施されている認識ではない。

【委員】

地区ごとで温度差があり、各事業を実施しているところもあれば、実施していないところもある状況である。各会長がリーダーシップをとって進めていけるように、支援してもらいたい。

【事務局】

地区ごとに、差があることは把握している。各種団体と連携していくことで、均一な取り組みをしていきたい。

今年度は新型コロナウイルスが5類感染症になったことを踏まえ、地域活動を復活・推進している地区もある。一方で、引き続き活発化できていない地区もあるため、各種団体と協力しながら、各地区の実情に合わせた支援をしていきたい。

【委員】

評価指標の中で、ラインやホームページの情報提供を定性的に評価すると説明があった。ホームページの場合、ページビューから人数を算出するケースがあると思われるが、定量的な評価が可能か教えてほしい。

【事務局】

市のホームページ及び市社協のホームページともに算出可能であるため、定量的な評価項目も設定可能である。ただし、福祉分野に限定した数字を算出できるかは要検討である。

【委員】

加えて、ホームページ等をきっかけに、その先にあるアクション（相談や資料請求など）にどれだけつながったかという点も集計できることが望ましい。どういう相談であれば、どこにつながるかというところが分かるため、よりよいと考える。

【委員】

細事業の名称に「ゲートキーパー」等わかりづらい言葉があるが、計画本編においては、説明文を読めば内容を理解できるように記載する想定か。

【事務局】

現行計画にも、用語解説という形で記載しているように、今回も用語解説で説明する

想定である。

【委員】

多くの事業は社協が関連するものだと認識している。その中で、社協と自治会が連携していくことが重要だと考えている。現状では、自治会に負担がかかっていると感じている。今後、社協と自治会が密接に連携していかなければ、次期計画も絵に描いた餅になってしまうと考えている。

【事務局】

ご指摘いただいたような自治会の負担の増加は承知している。自治会においても、担い手不足等が課題として挙がっている中で、どのように取組や支援ができるかという観点で細事業を検討していきたい。

【委員】

地域福祉計画と地域福祉活動計画が一体的な計画となっているため、責任の所在が分かりにくい。

【事務局】

現行計画にも、役割分担を記載している箇所があるため、次期計画にも引き続き記載していきたい。

【委員】

市と市社協の連携として、市の福祉保健部と、市社協が定例的に意見交換をしている。目的としては、地域の実態を市職員に知ってもらうこと、市がやりたいことを社協が理解することが挙げられる。現状としては、市社協の職員が少ないことに加え、市からの委託事業が多く、地域での各事業が思うように進んでいかない状況もある。今後は、地域における多様な団体の事業を理解しながら、自治会をはじめとした各団体と一緒に取り組んでいきたい。

(2) その他

(なし)

4 閉会

次回は12月19日(火)14時、会場は6階大会議室で開催予定である。